

信用事業業務検定試験問題

第54回 農業融資財務分析基礎

2024年2月3日 実施

ご注意(試験開始前によく読んでください)

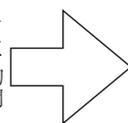
1. 答案を作成する前に、この冊子の裏表紙に印刷してある「答案作成上のご注意」をよく読んでください。
2. 解答用紙に記載されている受験番号・氏名が正しいかどうかを確認してください。誤りがある場合は監督者に申し出てください。
3. 試験問題は、監督者の合図があってから開封してください。
4. 試験問題は、連動する通信教育講座の内容に沿って作成しています。
5. 試験問題に関しては、印刷不明瞭な点以外の質問は受け付けません。
6. 不正な行為があったときは、解答はすべて無効になります。
7. 退席の際には、解答用紙は必ず監督者に直接手渡してください。
8. そのほか、監督者の指示に従ってください。

※ 本検定試験の優秀成績者については県域あて通知文書等において所属団体・氏名等を公表することとしておりますが、ご同意いただけない方は下欄に記入の上、試験終了後、本紙をミシン目に沿って切り取り監督者にご提出ください。

私は、優秀賞(最優秀賞含む)を受賞しても所属団体・氏名等の公表に同意いたしません。

都道府県名				所属団体名													
受験番号										氏名							
			-														

ここを切開く



農業融資財務分析基礎

連動する通信教育講座の内容や各種規定(統一版等)に基づき解答してください。

[問1] 経営体の種類に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 農業法人は定款で決めた事業年度を計算期間として、その期間における利益をもとに法人税等を計算し、期末から2か月以内に申告・納税をしなければならない。
 - b. 法人とは、法的に人格を持った経営体をいい、その法人の代表者の名義で商売を行う。
 - c. 農業に関わる経営体には個人と法人があるが、令和2年の農林業センサスによれば、個人事業者の数は法人の数より30倍以上多い。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問2] 決算書の種類と青色申告に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 所得税青色申告決算書の貸借対照表は、年初と年末の農業に関する資産および負債がどれだけあるかを表すものである。
 - b. 個人事業者の決算書の用途には、利益の計算、税金の計算のほかに、金融機関から融資を受けるためということも含まれる。
 - c. 帳簿を作成すれば自動的に青色申告の事業者になれるわけではなく、事前に申請する必要がある。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問3] 以下の表は、簿記のルールに沿って、次の①～③の取引を仕訳処理したものである。表中のa～fのうち、「現金」に該当するものはどれか、(1)～(3)の中から正しいものを1つ選びなさい。

- ① 知人から現金 500 円を借りた。
- ② 現金 300 円で商品を購入した。
- ③ 商品を 400 円で現金売りした。

	借 方		貸 方	
①	a	500	b	500
②	c	300	d	300
③	e	400	f	400

- (1) aとcとe
- (2) aとdとe
- (3) bとcとf

[問4] 収入金額に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 受取共済金, 出荷奨励金, 価格差補填金, 事業分量配当金は, いずれも雑収入として計上する。
- (2) 金銭を得たときに収入金額を計上する現金主義は, 青色申告承認申請書を提出した個人事業主なら誰でも適用される。
- (3) 農地を貸したことによる収入は, 事業所得になる。

[問5] 棚卸しに関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 収穫時から販売または消費等が終了するまでの期間が比較的短いもの(ぶどう, もも, なし, びわ等)は棚卸しをする必要がない。
- (2) その年に実際にどのような農産物を棚卸ししているかは, 農業所得用所得税青色申告決算書の「A収入金額の内訳」の農産物の期首棚卸高を見るとわかる。
- (3) 1個 5,000 円の商品を 100 個仕入れて, そのうち 80 個が合計 600,000 円で売れた場合の利益は, 200,000 円である。

[問6] 取得価額 370,000 円，取得時期・今年 10 月 5 日，耐用年数 7 年，償却方法・定額法で個人事業主が取得した耕うん機について，1 年目の未償却残高と 2 年目の未償却残高の正しい組合せを 1 つ選びなさい(耐用年数 7 年の定額法償却率は 0.143)。なお，減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合，切上げ処理を行うこと。

- (1) 1 年目 361,181 円 2 年目 308,271 円
- (2) 1 年目 356,772 円 2 年目 317,090 円
- (3) 1 年目 356,772 円 2 年目 303,862 円

[問7] 個人事業主が令和 5 年 9 月 20 日にトラクター(法定耐用年数 7 年)を 1,600,000 円で購入した場合の令和 6 年中の減価償却費として正しいものを 1 つ選びなさい。なお，年の途中での除却・売却・休止はないものとし，償却方法は定率法，耐用年数 7 年の償却率は 0.286 とする。また，減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合，切上げ処理を行うこと。

- (1) 413,976 円
- (2) 424,882 円
- (3) 457,600 円

[問8] 減価償却に関する次の記述について，誤っているものを 1 つ選びなさい。

- (1) 毎年の減価償却費は，定率法では「取得価額×償却率」で計算し，定額法では「前年末の未償却残高×償却率」で計算する。
- (2) 取得価額が 20 万円未満の一括償却資産は，3 年間で 1/3 ずつ減価償却することができる。
- (3) 減価償却における事業専用割合は，事業日数や使用頻度に応じて決められる。

[問9] 人件費に関する次の記述について，誤っているものはいくつあるか，(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 個人事業主本人と同一生計の配偶者に支払う給与を経費にするためには，「青色事業専従者給与に関する届出書」に記載されている方法により支払われ，かつ，その記載されている金額の範囲内で支払われたものである必要がある。
 - b. 個人事業主本人と同一生計の配偶者に支払う給与について，「青色事業専従者給与に関する届出書」を事後に税務署に提出すれば，その給与を経費にすることができる。
 - c. 青色事業専従者の要件の 1 つに，「その年を通じて 3 月を超える期間，その事業に専ら従事していること」がある。
- (1) 1 つ
 - (2) 2 つ
 - (3) 3 つ

[問 10] その他の経費に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 固定資産税は租税公課として経費になるが、農地ではなく自宅の固定資産税は経費にならない。
 - b. 生産に要したビニール、おがくず、土等の購入費は「農具費」の科目で経費に計上する。
 - c. 事業主の家族を対象とする共済の掛金は、「農業共済掛金」として経費となる。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 11] 青色申告特別控除額に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 青色申告特別控除の特例は、事業所得のほか、不動産所得と山林所得について認められているが、まずは事業所得から控除する。
- (2) e-Taxによる申告(電子申告)または電子帳簿保存を行っていれば、75万円の青色申告特別控除を受けることができる。
- (3) 青色申告特別控除の適用を受けるためには、複式簿記の方法により帳簿を作成し、貸借対照表と損益計算書を添付した確定申告書を申告期限内に税務署に提出する必要がある。

[問 12] 肉用牛の特例に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 売却金額が、1頭当たり税抜100万円(交雑種80万円、乳用種5万円)未満であることが、適用要件の1つとされている。
 - b. 肉用牛の売却金額を補てんする性質の補助金を受け取っている場合、その補助金の額は適用要件の判定上、売却金額に含めなくてよい。
 - c. 年間の売却頭数が2,000頭以下であることが、適用要件の1つである。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 13] 売掛金と貸倒引当金に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 代金を受け取ると、売掛金という資産は、現金や預金といった資産に変化する。
 - b. 貸倒引当金は、その年の1月1日時点における「売掛金、未収金、貸付金の残高の合計×5.5%」の金額を限度として設定できる。
 - c. 貸倒引当金に繰り入れた金額は、損益計算書にも記載され、農業所得の経費とされるが、実際に売掛金などが貸し倒れていないと、経費にできない。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 14] 買掛金、未払金、預り金に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 一般的に、商品の代金の未払いは買掛金、経費の代金の未払いは未払金、と使い分けされている。
 - b. 従業員の給与から源泉徴収した税金の勘定科目は、「預り金」である。
 - c. 源泉徴収の納期の特例において、7月から12月までに源泉徴収した金額は、翌年2月15日までに納付する必要がある。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 15] 事業主勘定に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 事業用の現金を生活資金に使用した場合、仕訳は借方が現金、貸方が事業主貸となる。
- (2) 事業主貸と事業主借は、1年以上繰り越すこともある。
- (3) プライベートの預金から10万円を事業用の預金に振り替えた場合の仕訳は、次のとおりである。
(借方)普通預金 100,000円 (貸方)事業主借 100,000円

[問 16] 所得区分に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 個人が得た所得は、その内容に応じて10種類に区分されている。
- b. 法人から贈与された金品は、雑所得に該当する。
- c. 災害により、農産物の収益を補償する保険金を受け取った場合、その保険金は農産物の売上代金とみなして、農業所得の収入金額に含める。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 17] 各種所得の金額が下記のとおりである場合、損益通算後の所得金額として正しいものを1つ選びなさい。

<各種所得>

事業(農業)所得 △ 30 不動産所得 180 譲渡所得 50 雑所得 △ 20

- (1) 230
- (2) 200
- (3) 180

個人農家の下記資料を基に，[問 18]～[問 22] に答えなさい。

損益計算書 (単位：円)

収入金額	販売金額	8,600,000
	農産物の期首棚卸高	270,000
	農産物の期末棚卸高	290,000
	小 計	(①)
必要経費	租税公課	130,000
	種苗費	240,000
	肥料費	290,000
	農具費	90,000
	農薬・衛生費	270,000
	減価償却費	150,000
	利子割引料	18,000
	雑 費	222,000
	小 計	1,410,000
差引金額	(?)	
貸倒引当金 繰戻額	66,000	
専従者給与	3,018,000	
貸倒引当金 繰入額	(②)	
青色申告特別控除額	550,000	
所得金額	3,631,000	

貸借対照表 (単位：円)

科 目	資 産		負債・資本		
	1月1日	12月31日	科 目	1月1日	12月31日
現 金	290,000	350,000	借入金	1,249,000	767,000
普通預金	1,270,000	1,290,000			
売掛金	1,200,000	1,400,000	貸倒引当金	66,000	77,000
農産物	(?)	(③)			
農機具等	740,000	820,000	事業主借		0
			元入金	2,455,000	2,455,000
事業主貸		3,330,000	(?)		(④)
合 計	3,770,000	7,480,000	合 計	3,770,000	(?)

[問 18] ①に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 8,040,000
- (2) 8,580,000
- (3) 8,620,000

[問 19] ②に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 37,000
- (2) 66,000
- (3) 77,000

[問 20] ③に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 20,000
- (2) 270,000
- (3) 290,000

[問 21] ④に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 3,631,000
- (2) 4,181,000
- (3) 4,335,000

[問 22] この個人農家の決算書の分析として、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 事業主貸として3,330,000円が計上されているので、この金額が事業から家計に移っているといえる。
 - b. 専従者給与として3,018,000円が計上されているので、事業主本人と生計が一緒である配偶者その他の親族への給与は3,018,000円である。
 - c. 所得金額が3,631,000円あるが、建物の譲渡による損失が300万円あるとすると、損益通算することによって納税額を大幅に減らすことが可能である(他の所得および損失はないものとする)。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

農業法人の下記資料を基に，[問 23]～[問 28] に答えなさい。

貸借対照表
(令和5年3月31日時点) (単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	【 4,180,000 】	【流動負債】	【 2,110,000 】
現金預金	2,250,000	買掛金	880,000
売掛金	1,200,000	未払金	520,000
農産物等	420,000	預り金	160,000
仕掛品	376,000	未払法人税等	550,000
貸倒引当金	△ 66,000		
【固定資産】	【 13,500,000 】	【固定負債】	【 1,790,000 】
((①)固定資産)	(13,500,000)	(②)借入金	1,790,000
建 物	3,500,000		
農機具	800,000	負債の部 合計	3,900,000
果樹・牛馬等	500,000	純資産の部	
育成仮勘定	900,000	【資本金】	【 5,000,000 】
土 地	7,800,000	【利益剰余金】	【 8,780,000 】
		繰越利益	8,780,000
		純資産の部 合計	13,780,000
資産の部 合計	17,680,000	負債・純資産 合計	17,680,000

損益計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円)

【売上高】		15,600,000
【売上原価】		
期首農産物棚卸高	350,000	
当期農業原価	<u>4,750,000</u>	
合計	5,100,000	
期末農産物棚卸高	<u>420,000</u>	<u>4,680,000</u>
売上(③)		10,920,000
【販売費及び一般管理費】		<u>6,300,000</u>
営業利益		4,620,000
【営業外収益】		
貸倒引当金戻入	105,000	
雑収入	<u>35,000</u>	140,000
【営業外費用】		
支払利息	<u>70,000</u>	<u>70,000</u>
(④)利益		4,690,000
税引前当期純利益		4,690,000
法人税,住民税及び事業税		<u>1,876,000</u>
当期純利益		<u>2,814,000</u>

株主資本等変動計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円)

	資本金	資本準備金	利益剰余金		純資産合計
			利益準備金	繰越利益	
当期首残高	5,000,000	0	0	(⑤)	(?)
当期変動額					
剰余金の配当					
当期純利益				2,814,000	2,814,000
当期変動額合計	0	0	0	2,814,000	2,814,000
当期末残高	5,000,000	0	0	(?)	1,378,000

[問 23] ①に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 有形
- (2) 無形
- (3) 未償却

[問 24] ②に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 短期
- (2) 長期
- (3) 無期

[問 25] ③に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 純利益
- (2) 総利益
- (3) 当期利益

[問 26] ④に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 経常
- (2) 特別
- (3) 臨時

[問 27] ⑤に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 5,966,000
- (2) 8,780,000
- (3) 13,780,000

[問 28] 流動比率として、正しいものを1つ選びなさい(小数第2位を四捨五入)。

- (1) 51.7%
- (2) 107.2%
- (3) 198.1%

[問 29] 各種財務指標による分析に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 総資本経常利益率は、「経常利益率×総資本回転率」で表される。
 - b. 売上総利益増加率、営業利益増加率、経常利益率は成長性分析で使われる比率である。
 - c. 固定長期適合率は、150%以上が理想といわれている。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 30] 労働分配率の計算式として、正しい組合せを1つ選びなさい。

労働分配率 = (A) ÷ (B) × 100 (%)

- (1) A 人件費 B 営業利益
(2) A 付加価値額 B 人件費
(3) A 人件費 B 付加価値額

[問 31] 資金繰りでよく出てくる言葉である「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 信用経済のもとでは、原材料を購入したり、商品を仕入れたりした場合の決済方法は、現金決済が普通である。
 - b. 商品を販売すれば、その回収が現金であろうが掛けであろうが、「売上」の事実をもって収入金額(収益)と認識する考え方を発生主義という。
 - c. 現金主義で収益と費用を計上し利益が出ている場合は、その利益が大きければ大きいほど資金繰りが苦しい。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 32] 「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、営業の過程で資金が不足するものを、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、各記述はそれぞれ独立したものであり、この記述のほか取引はないものとする。また、令和5年10月10日取引開始前の現預金残高は20万円である。

- (1) 令和5年10月10日に商品18万円を掛けて仕入れ(決済日同年11月30日)、この商品を同年12月10日に25万円で掛け売りした(決済日令和6年1月31日)。
- (2) 令和5年10月10日に商品24万円を掛けて仕入れ(決済日同年11月30日)、この商品を同年11月20日に30万円で現金販売した。
- (3) 令和5年10月10日に商品22万円を掛けて仕入れ(決済日同年11月30日)、この商品を同年11月20日に30万円で掛け売りした(決済日同年12月28日)。

[問 33] 損益計算と収支計算に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 期末に未販売農産物が50,000円(販売価格)発生していた場合、収支計算上50,000円のマイナスとなる。
 - b. 商品を現金で仕入れ、この商品を掛けて販売した場合、「収支計算上の収支<損益計算上の利益」となる。
 - c. 前期から繰り越された未販売農産物が25,000円(販売価格)、当期末に28,000円(販売価格)の未販売農産物が発生している。このとき前期の未販売農産物を含めた当期の実際の売上が350,000円だった場合の当期利益は、353,000円となる。なお、売上原価については考慮しなくてよい。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 34] 次の①～⑤の取引を行った結果、現預金の月末残高として正しいものはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい(現預金の月初残高500,000円とする)。

- ① 商品を150,000円で仕入れ、代金は掛けとした。
 - ② 商品を190,000円で売り上げ、代金は現金で受け取った。
 - ③ 以前受け取っていた受取手形120,000円が決済され、普通預金に入金された。
 - ④ 以前振り出していた支払手形150,000円が決済され、当座預金から引き落とされた。
 - ⑤ 月次決算において、減価償却費35,000円を計上した。
- (1) 160,000円
 - (2) 625,000円
 - (3) 660,000円

[問 35] 仕入と売上原価に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、本問に記載のない事項は一切考慮しなくてよい。

- a. 仕入れたモノのうち、売れ残っている部分は売上原価にならない。
- b. 仕入単価が同じ場合、前年から繰り越された商品が売れても、利益率は変わらない。
- c. 期首棚卸高 18,000 円、当期仕入高 24,000 円、期末棚卸高 15,000 円、原価値入率(※)は期を通して 20% で一定であった場合、資金は 1,200 円増加する。なお、本問は農産物以外の取引であり、売上および仕入はすべて現金で決済されるものとする。

(※)原価値入率 = (売上高 - 売上原価) ÷ 売上原価 とする。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 36] 在庫に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 農業における在庫に対する留意点の1つに、育成中の果樹や牛馬の固定資産への振替えが漏れていないか、という点が挙げられる。
- b. 仕入れた商品が売れ残った場合、(売上原価 - 仕入)に相当する在庫が増えることになる。
- c. 収穫基準が適用される米・麦・いも類の未販売農作物については、会計上、在庫として認識する。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 37] 経費に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 来年分の地代を当年末に支払った場合、損益計算上の経費計上と収支計算上の経費支出にタイムラグが生じる。
- b. 事業用の軽自動車を 150 万円で購入し現金で支払った場合、経費としてではなく、資産として計上する。
- c. 経費の計上時期とその支出の時期との間にズレが生じる主な原因の1つに、引当金の計上がある。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 38] 次の①～④の取引で利益と収支が一致するのは、①の取引から何か月後か、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 商品 50,000 円を掛けで仕入れた。
 - ② ①の商品を1か月後に 65,000 円で掛け売りした。
 - ③ ①の買掛金は、仕入れてから 1.5 か月後に 2 か月サイトの手形で支払った。
 - ④ ②の売掛金は、売り上げてから 2 か月後に 2 か月サイトの手形で回収した。
- (1) 3か月後
(2) 4か月後
(3) 5か月後

[問 39] 仕入支出と売上収入に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 次の取引で、買掛金を仕入時より 1.5 か月後に 2 か月のサイトの支払手形で支払ったら、お金は不足しない。
- ① 商品を掛けで仕入れた。
 - ② 仕入から 2 か月後、その商品を掛け売りした。
 - ③ 掛け売りから 2 か月後、売掛金を現金回収した。
- b. 買掛金のサイト、支払手形のサイトが長ければ長いほど、お金が不足する期間は短くてすむが、在庫期間が長ければお金が不足する期間も長くなる。
- c. 仕入れた商品が販売されお金になるまでに 3 か月かかり、その仕入代金をお金で支払うまでが 2 か月の場合は、売上が増えるとお金は不足しない。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 40] 資金繰りに関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 人手不足による人件費の高騰は、資金繰り悪化の大きな要因とはならない。
- b. ある時点でお金の「出」が「入り」を上回ると予想された場合、「出」を早めたり「入り」を遅らせることにより「入り」を「出」より上回らせることができる。
- c. お金が余りそうなときに、そのお金の有利な運用を考えることも、資金繰りに該当する。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 41] 資金繰りを考えるうえで考慮される現金増減の法則に関する次の記述について、現金の減少として捉えるものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 元入金が増加した。
- b. 売掛金が増加した。
- c. 受取手形が増加した。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 42] 個人事業主の貸借対照表に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 貸借対照表の負債に該当するものは、いわゆる他人資本であり、事業主以外の第三者から調達したお金を指す。
- (2) 1年以内にお金になる資産は、流動資産に該当する。
- (3) 未収金、貸付金、前受金は、いずれも資産の部に表示される。

[問 43] 個人事業主の貸借対照表に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 貸借対照表の貸方はお金の運用形態を表し、借方はお金の調達源泉を表す。
- b. 事業主貸は「事業主への貸し」と捉えられ、事業主借は「事業主からの借り」と捉えられるが、両者とも最終的には元入金に集約される。
- c. 借入金は他人資本に該当するため、「事業主からの借り」である事業主借は他人資本に該当する。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 44] 資金貸借対照表において、次のうち、固定資金の調達に該当する勘定科目はいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 貸倒引当金
- b. 長期借入金
- c. 元入金

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 45] 固定資金、流動資金の運用と調達について、資金繰りの観点で望ましいと考えられる関係を(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、不等号(「<」「>」)は、貸借対照表の残高の多寡を表している。

- (1) 固定資金の運用 > 固定資金の調達
- (2) 流動資金の運用 < 流動資金の調達
- (3) 固定資金の運用 < 固定資金の調達

[問 46] 長期借入金による設備投資に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 長期借入金の返済原資になるものは、内部留保した利益(処分後利益)や減価償却費を考慮することが望ましい。
 - b. 内部留保した利益(処分後利益)とは、税引前利益から税金を支払い、会社の場合には株主配当金などを差し引いた利益のことをいう。
 - c. 長期借入金などの固定負債を無理に返済することは、結果として、その返済資金を、流動資金から調達することにつながる。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 47] 運転資金に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 営業運転資金とは、そのビジネスの営業に直接関係のある資金の調達金額が、その運用金額よりも大きい場合の、その余剰資金をいう。
- (2) 運転資金は「流動資産－流動負債」で表されるが、有価証券、前払金は流動資産に該当する。
- (3) 営業運転資金の不足資金を調達する場合、資金不足の原因を追究する必要はない。

[問 48] 営業運転資金に関する下記の図に関する説明について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

売掛金 1,400,000 円	買掛金 550,000 円
棚卸資産 450,000 円	

- a. 売掛金 1,400,000 円のうち、1,200,000 円分が手形で回収されても、営業運転資金は何らの変化もない。
- b. 売掛金 1,400,000 円のうち、1,000,000 円分を現金販売できていれば、営業運転資金が不足することはなかった。
- c. 売掛金・棚卸資産の合計と、買掛金との差額は営業運転資金の不足分であるから、何らかの方法で調達しなければならない。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 49] 流動資金の運用と調達に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 当座貸越は一度契約をしていれば、限度額までは自由に借りられるが、金融機関の審査が他の調達方法に比べて厳しいというデメリットがある。
- (2) 金利 3% で 200 万円の借入れをした場合の 1 年間の支払利息は、粗利益率 30% のビジネスの場合では売上高 20 万円分の利益に相当する。
- (3) 手形の割引とは、手元にある手形を期日後に金融機関に持ち込み、一定の割引料を支払って金融機関に買い取ってもらうことである。

[問 50] 売上債権管理, 在庫管理に関する次の記述について, 誤っているものはいくつあるか, (1)~(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 常時必要な農薬や肥料は豊富に手元に置いておくことにより, 機動的に利用でき収穫に直結するため, 資金繰りに余裕が持てる。
 - b. 在庫については, 各商品をすべて均一に管理する方が効率的であり, 資金繰りのうえでも望ましい。
 - c. 受取手形や売掛金, 農産物は将来的な現金になるが, これらの資産が拡大すると資金繰りはひっ迫してくる。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

答案作成上のご注意

① 所持品

受験票・鉛筆(HB)・消しゴム・電卓1台(ただし、金融計算・関数・メモ機能付を除く)

② 解答用紙の記入方法

- (1) 受験票の受験番号・氏名が解答用紙の受験番号・氏名と一致していることを確認のうえ、解答用紙の氏名欄にカタカナ名を記入してください。
- (2) コンピューターの印字がない白地の解答用紙を使用する場合は、受験票記載の受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入してください。
- (3) 解答用紙を折りまげたり、破ったりしないでください。また、解答用紙が著しくよごれたときは、監督者に申し出て新しい(白地の)解答用紙と取りかえてください。その際は、受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入のうえ、受験番号も忘れずにマークしてください。

③ マークの記入方法

この試験は、マーク・シート方式です。

- (1) 正しいマーク例 ● はみださないよう鉛筆で塗りつぶしてください。
- (2) 誤ったマーク例 ① ② ⊗ ⊙ 0
- (3) 訂正方法
消しゴムで跡が残らないようきれいに消してください。
消し方が不完全な場合には二重解答となり採点されません。

④ 本試験の正解は2024年2月8日(木)を目途に次のインターネットサイトに掲示いたします。<https://www.nc-academy-answer.net/>

アクセスする際は、上記URLを直接入力するか、右記二次元バーコードを読み取りして、ダイレクトにアクセスしてください。



(株)農林中金アカデミーのトップページからアクセスすると、アクセス集中によって長時間待たされる、あるいは操作が停止することになりますので控えてください。



株式会社 農林中金アカデミー

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-11 アグリスクエア新宿9階
TEL 03-6457-8806 (代表)